



平成 30 年 10 月 31 日

報道関係者各位

国立大学法人帯広畜産大学

## 帯広畜産大学・ウィスコンシン大学教育研究合同ワークショップの 開催について

このたび、2014年に学術交流協定を締結したウィスコンシン大学マディソン校より研究者8名を迎え、両大学初の教育研究合同ワークショップを下記のとおり開催いたします。

このワークショップは、両大学の交流促進を目的としており、大学の機能強化事業としてこれまで取り組んできた両大学の教育研究活動紹介の他、プロジェクトの今後の展望や新規プロジェクトの可能性について、両大学の教員を中心として学外関係者や学生と共に討論を行います。

つきましては、本事業の取材について、報道各社のご協力をお願いいたします。

### 記

日 時 : 平成30年11月3日(土) 10:00~17:00

会 場 : 帯広畜産大学講義棟

開催概要 : ○全体セッション 両大学のこれまでの取組み

○分野別セッション

植物科学と環境科学、食品科学とテクノロジー、動物科学

○教育プログラム事業報告・まとめ

※詳細は別添プログラムをご覧ください。

お問合せ : 国立大学法人帯広畜産大学 国際・地域連携課 国際連携係

電話 : 0155-49-5348 E-mail : gamrc@obihiro.ac.jp

# Workshop on Collaborative Research & Education by the Joint Program between OUAVM & UW-Madison

帯広畜産大学・ウィスコンシン大学マディソン校 教育研究合同ワークショップ  
～コラボの成果と今後の展望～

What's achieved?  
What's next?

協定校である米国UW-Madison校との初の合同ワークショップを開催します。  
両大学の土壌・食品科学・動物科学分野の研究者が集まり、最新の共同研究成果  
や今後の展望について議論を行います。

**2018年11月3日（土）10:30-17:00**

帯広畜産大学 講義棟

事前参加申込み・参加費不要 詳細は裏面へ

（主催）国立大学法人帯広畜産大学・ウィスコンシン大学マディソン校

<b>開場</b> 10:00	<b>受付（会場：講義棟5番講義室）</b>
<b>挨拶</b> 10:30-10:45	帯広畜産大学グローバルアグロメディシン研究センター長 教授 金山 紀久 Wisconsin University 農学部長代理 国際名誉副部長 John Ferrick
<b>午前の部</b> 10:45-11:30	<b>全体セッション（講義棟5番講義室）</b> ●帯広畜産大学×Wisconsin Universityマディソン校 協働のスタートとこれまでの取組み (What's achieved?) 谷 昌幸（帯畜大）、Jiwan Palta (UW)、宮本 明夫（帯畜大）
11:30-13:00	<b>昼食</b>
<b>午後の部</b> 13:00-15:30	<b>分野別セッション</b> ●Session 1: 植物科学と環境科学（講義棟5番講義室） 司会：谷 昌幸（帯畜大）、Jiwan Palta、Murray Clayton (UW) グループメンバー：相内 大吾、春日 純、木下 林太郎、森 正彦 赤坂 卓美、大西 一光（帯畜大） ●Session 2: 食品科学とテクノロジー（講義棟35番講義室） 司会：福田 健二（帯畜大）、Jess Reed (UW) グループメンバー：韓 圭鎬（帯畜大）、池田 新矢 (UW) ●Session 3: 動物科学（講義棟25番教室） 司会：宮本明夫（帯畜大）、Hasan Khateeb (UW) グループメンバー：後藤 達彦、福間 直希（帯畜大） Guilherme Rosa、Garret Suen (UW)
15:30-16:00	<b>Coffee Break</b>
16:00-17:00	<b>教育プログラム事業報告・まとめ（講義棟5番講義室）</b> 司会：宮本 明夫（帯畜大）、Jiwan Palta (UW) ●スタディーアブロード×サマージョイントプログラム2018 木下 林太郎（帯畜大）、John Ferrick (UW) ●分野別セッション報告と今後の展望（What's next?） 谷 昌幸、福田 健二、宮本 明夫（帯畜大）
<b>閉会</b>	帯広畜産大学 理事 井上 昇